

光市水道局記者発表資料

令和8年10月9日

件名	給水スポットの設置について
内容	標記の件について、島田川の伏流水を水源とする「おいしい光市の水道水」のPRを目的に、浅江中学校へ「給水スポット」を設置することとなりましたのでお知らせします。 1 設置場所 光市立浅江中学校（光市光ヶ丘1番1号） 2 設置予定日 令和8年10月16日（金） 3 その他 詳細につきましては、別途資料をご参照ください。
問合せ	担当課：光市水道局業務課庶務係 担当者：福田、田中 電話：0833-71-0700

●給水スポットの設置について

1 取組みの趣旨

・光市の将来を担う子どもたちに給水スポットでマイボトルに注いだ冷たい水道水を飲んでもらい、「私たちが住む光市の水道水はおいしいんだ」ということを実感してもらう。

また、大人になっても印象に残り続ける実体験として、「光市の水道水＝おいしい」といったイメージを持ってもらうことを期待し、「光の水道水のおいしさ」の周知、拡大につなげることを目的とする。

2 デザインのコンセプト

【全体イメージについて】

・光市の誇る「山（峨嵋山、石城山）」・「川（島田川）」・「海（室積・虹ヶ浜海岸）」といった豊かな自然と「山に降った雨が地下へと浸透し、河床を流れる伏流水となり、やがて海へと流れ出す」といった光市の水道水源である島田川の伏流水の一連の流れをイメージし、子どもから大人まで世代を問わず愛着を持てるようなシンプルなデザインとした。

【ネーミングについて】

・光市においては、本取組の趣旨である「光市の水道水のおいしさを実感してもらう」といった観点から、「ひかりのおいしい水道水」という誰にでも伝わる直接的なネーミングとした。

【メッセージについて】

・冷たい水道水を飲んでもらうといった「味覚」に訴える実体験はもとより、普段、何気なく使っている水道水について、シンプルでメッセージ性の高いものを発信することにより、「視覚」に訴えた PR を行い、大人になっても印象に残り続ける効果を期待したものとした。

『島田川の伏流水ーいつも飲むその水は光市だけの特別な価値がある』

光市の水道水のおいしさの源である「島田川の伏流水」というキーワードをもとに、「光市の水道水」の特別な価値を認識してもらう。

『NO WATER, NO LIFE. この水がある。この街がある。私たちがいる。』

「NO～, NO～.」といった、ありきたりな表現であるが、「この水がある。この街がある。私たちがいる。」といったメッセージを付け加えることにより、「水道水」と「光市」と「自分たち」のつながりを認識してもらい、自分たちの暮らす「光市」、「光市の誇る水道水」への愛着を感じてもらう。

NO WATER, NO LIFE.

この水がある。この街がある。私たちがいる。



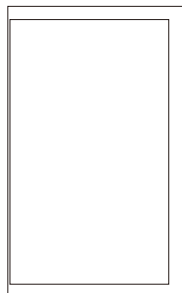
NO WATER,
NO LIFE.

この水がある。

この街がある。

私たちがいる。

光市水道局



ひかりの
おいしい
水道水

島田川の伏流水

いつも飲むその水は
光市だけの特別な価値がある